

大学院 人文社会科学研究科のカリキュラム・ポリシー

社会科学専攻

社会の諸問題を高度な専門性と幅広い視野をもって考究できるカリキュラムを用意しています。具体的には、法学・政治学・経済学・経営学などの専門領域です。

ー 2年間のカリキュラム構成と特徴ー

● 1年生：専門的知識の充実と地域社会が抱える課題の理解を様々な学問領域の専門的な考え方や知識を学びながら、「三重の文化と社会Ⅰ」「三重の文化と社会Ⅱ」（選択必修科目）を通じて地域理解の能力を高めます。これと同時に地域社会が抱える課題を解決する方法を考えます。

● 2年生：修士論文の研究を通じて2年間の総括を高度な専門知識を修得しつつ、地域における政策形成、企業活動等の状況を学びます。

指導教員（および、標準在学コースの場合には副指導教員）の指導の下に修士論文を作成し、その成果を修士論文発表会で発表します。

(カリキュラムの図)

標準在学コース

1年生		2年生	
【前期】	【後期】	【前期】	【後期】
特別研究Ⅰ(必修2単位)	特別研究Ⅱ(必修2単位)	特別研究Ⅲ(必修2単位)	
		修士論文	
指導教員が指定する特講および演習(必修4単位)			
選択必修科目(12単位)			
当該専攻の授業科目ならびに「三重の文化と社会ⅠⅡ」から選択			
自由選択科目(8単位)			
当該専攻および他専攻の授業科目から自由に選択			

短期在学コース

1年生	
【前期】	【後期】
特別研究Ⅰ(必修2単位)	特別研究Ⅱ(必修2単位)
修士論文	
指導教員が指定する特講および演習(必修4単位)	
選択必修科目(14単位)	
当該専攻の授業科目ならびに「三重の文化と社会ⅠⅡ」から選択	
自由選択科目(8単位)	
当該専攻および他専攻の授業科目から自由に選択	